



津山市教委 かわら版



—津山市教育委員会だより— 平成28年7月〈第22号〉

**教育長
就任「あこぎ」**



原田教育長

津山市教育委員会教育長に就任し、津山市の教育行政を担うこととなりました。その重大な職責を果たすべく、一所懸命、職務に務めているところであります。

さて、就任してまもなくの5月に、岡山県で「教育におけるイノベーション」をテーマにG7教育大臣会合が開催されました。そこで採択された「倉敷宣言」において、教育の果たすべき新たな役割として、①「社会的包摂」、②「共通価値の尊重」の促進、③「新しい時代に求められる資質・能力の育成」、④「新たな役割を果たすための国際協働の更なる推進がうたいあげられました。

教育の現場では、学力の向上やいじめの防止、生徒指導・不登校支援、特別支援教育の充実など、多くの

取り組むべき課題があります。これらの課題は、価値観の多様化、規範意識の低下、子どもの貧困問題など、社会全体の環境の変化が大きく関わっており、社会全体で取り組むべき課題です。そのような中で、「教育」を通して、すべての人が最大限の可能性を発揮できる必要な力を培い、「教育」が、生きがいを感じることができ、また「教育」関係者が、何を知っているか、知っていることをどう使うか、どのように社会・世界と関わるかといった視点の共有など、社会全体の課題の解決のために果たし得る「教育」の重要性が強調されておりま

す。津山市教育委員会といたしましても、教育の現場の中でこれらの課題に対応し、学校が子どもたちの「笑顔輝くあたたかな居場所」となるよう、一人ひとりを大切に「教育」に努めてまいります。

平成28年度は、平成29年度から新たに始まる「津山市教育振興基本計画」を策定する重要な年です。地域

や保護者の皆様とともに、保幼小中の連携を進めながら、郷土の自然、歴史、文化、産業など、津山の特色を生かし、子どもたちの健全な心身を育むことが、「教育」の創出に向けて、津山市の「教育におけるイノベーション」を起すべく、いく所存です。

今後とも、津山市の教育行政の代表者として、教育委員をはじめ、地域の皆さまや関係機関と連携し、誠心誠意、使命を果たしていく所存ですので、ご支援とご協力をよろしく願いたします。

教育委員による 学校等施設訪問の実施

教育委員による学校訪問を5月25日から7月4日の期間で実施し、小学校14校、中学校4校をはじめ、生涯学習施設、文化施設、体育施設などを訪問しました。

小・中学校では、校長・教頭先生から学校経営・学校運営などについて、それ

ぞれの学校の特色ある取り組みを伺うとともに、子どもたちの学力の向上や特別支援教育の充実など、学校現場が抱える課題についても、伺いました。



校長・教頭から学校の様子を伺う教育委員

また、児童・生徒の皆さんの明るい笑顔、元気な挨拶、学び合う姿に見学している私達も、元気をいただきました。

さらに、地域の方々に学習の支援、登下校の安全指導や環境整備など、多大なご協力をいただいていることにも伺い、深く感謝するとともに、今後とも地域や保護者の皆様と、郷土の自然、歴史、文化等、津山の特色を生かし、豊かな心、健全な心身を育んでいきたいと改めて感じました。

**「津山市の小中連携グランドデザイン」パンフレットの
配付**

津山市では、学力向上と生徒指導の充実に向けて、児童生徒が温かい人間関係と落ち着いた学習環境のもと、『確かな学力』を育てることを目的として、小中連携教育に取り組んでいます。このたび、各校が小中連携教育を進めていく上で、中学校区としての全体構想の概要をまとめたパンフレットを作成し、市内全小中学校へ配布しました。

パンフレットには、小中学校義務教育9年間を見据えて、津山市全体で統一して取り組んでいる内容（例：津山っ子の約束・授業改善の視点・家庭学習等）と、中学校区ごとにそれぞれ取り組んでいる内容（例：ブロック連携研修会・ノーマEDIA週間・小中学校の出前授業等）を掲載しています。小・中学校が連続性と一貫性をもって、学力面の課題や生徒指導上の課題について研修及び、実践をまとめたものです。このパンフレットについて



小中連携グランドデザインパンフレット

ては、保護者や地域の皆様にも、取組をお知らせするために、順次配布できるよう計画しています。本年度は、小学校3年生・6年生及び中学3年生へ配付しています。

**平成28年度津山市内
小・中学校児童生徒交流会**

平成28年度津山市内小・中学校児童生徒交流会を、6月19日(日)、津山リージョンセンターで開催しました。

本交流会は平成26年制定の「津山市いじめ問題対策基本方針」に基づき、児童生徒自らが問題と向き合う

機会として、昨年度より市教委とPTA連合会・小中学校長会が連携して企画しているものです。

第一部では、①津山市の現状報告(市教委)②岡山スマホサミット参加校(久米中学校)の報告③市内の取り組み(津山東中学校)の発表をしました。

その後、小・中学生が8つのグループに分かれ、意見交流やスマホ・ネット問題に関する各校の取組の交流を行いました。



取り組みについてプレゼンする中学生

第二部では、美作大学教授の渡邊淳一先生と児童学科の学生の力を借りながら、小学生グループ・中学生グループで、いじめ防止を訴える十五秒のCMづくり

(寸劇)に挑戦しました。無視されたり、スマホトラブルで落ち込んでいる子に寄り添い「いじめ絶対ダメ!」とアピールしたり、ある教室での一場面を演じ「これっていいの?」と問題提起する等、七つのグループが趣向をこらしたCMを発表しました。

参加した小学生からは、「私たちの先輩がみんなの前で堂々と発表していたのかっこよかった。」「劇やアンケートなど自分たちの学校でもできそうなものがあり、参考になった。」等の感想もあり、これからの自分たちの学校の取組に意欲をみせていました。



CMづくりについてのグループ協議

今回の交流会をきっかけに、スマホ・ネット問題を含むいじめ防止に関する児童生徒の主体的な活動が津山市全体で更に推進されていくことを期待しています。

**ふるさと教育の推進
「マイタウンつやま」**

【ふるさと教育の目的】市内各小中学校では、『ふるさと津山』の伝統と文化を育てた先人の努力を知り、その伝統や文化を受け継いで発展させていく態度を養うために、児童生徒への学習の機会を設けています。

津山市の歴史や文化、自然環境等の郷土の豊かな資源に学び、『ふるさと津山』に対する愛情と誇りを持ち、津山市を担う自覚と責任を持つ人材育成へつなげていきます。

【具体的な学習活動】
①市内の6年生全員が津山郷土博物館と津山洋学資料館への見学を行っています。
②小学校3・4年生では、「私たちの津山」、中学生では、「郷土津山」という社会科学副読本を活用し、ふるさ

との歴史や文化を学んでいきます。

③総合的な学習の時間では、各学校がその地域ならではの伝統や文化、地域人材を活用した学習を行っています。

(活動例)

和紙作り・自然薯栽培・和太鼓・織物体験・古墳見学・昔遊び・アイガモ農法による米作り・七輪体験等々。



ふるさと学習で和紙作り体験をする児童

今後は「ふるさと学習プロジェクトチーム」を立ち上げ、ふるさと学習の教材リストや地域講師の人材バ

ンクの作成、ふるさと学習授業案等ふるさと学習をより一層充実していくための情報・資料提供等の学習環境整備に力を入れていきたいと考えています。



津山市教育支援委員会の発足

本年度より、教育上特別な配慮を要する幼児、児童及び生徒の教育及び支援に關して審議し、助言を行う「津山市教育支援委員会」を発足しました。

本委員会は、心理福祉の専門家や医療、学校関係者等で構成されており、年間を通して開催します。

審議内容は、児童生徒の発達に応じた適切な教育の充実に向けて、①乳・幼児期から始まっている支援を小学校・中学校へ円滑に引き継ぐ就学支援について、②就学後の一貫した適切な教育と必要な教育的支援についてです。そして、津山市特別支援教育推進センター等関係機関と連携して個

別のニーズに応じた教育支援の充実を図っていききたいと考えています。

障害のある子どもたちが、地域社会の一員として、様々な人々と交流し、主体的に社会参加しながら心豊かに生きていくことができれば、子どもが自立を継続的に支援していききたいと考えています。

リオ五輪出場の岡田選手壮行会を開催

今年8月に開催されるリオ五輪のライフル射撃競技に、岡田直也選手(下田邑)の出場が決定し、6月29日に市長、教育長をはじめ、各方面の代表者が出席して壮行会が開催されました。



壮行会で市長から激励を受ける岡田直也選手

岡田選手は、平成27年5月にナショナルメンバー入

りし、今年1月にインドで開催されたリオ五輪アジア予選大会で、自らが持つ日本記録を更新して優勝、五輪出場の切符を獲得しました。

壮行会では、宮地市長から「オリンピックという大舞台でも、練習の成果をいかなく発揮され、金メダル獲得を目指してください」との激励メッセージの後、花束と激励金が渡されました。

第2回『見つけよう！津山の魅力』調べる学習コンクールを開催

昨年引き続き、市教育委員会は、小・中学生が疑問や興味を持ったことを調べてまとめた作品を募集するコンクールを開催します。

対象は、津山市在住・在学の小・中学生(個人またはグループ)で、テーマは津山から発展させたことなら歴史・観光・人物・特産物・産業・地形・気候など何でも構いません。

市立図書館をはじめ津山郷土博物館、津山洋学資料館・津山弥生の里文化財センターやボランティアと協

働で、津山を調べるサポート勉強会を行う場を設け、調べたい内容のヒントにしてみらったり、市立図書館や学校図書館等で調べお手伝いをします。



6月18日に開催されたサポート勉強会の様子

コンクールの優秀作品は表彰し、市立図書館等で展示するとともに、冊子にして市内全小・中学校へ配布します。また、作品の一部を公益財団法人図書館振興財団が主催する全国コンクール「図書館を使った調べる学習コンクール」へ推薦します。

※コンクールや勉強会の申込・問い合わせは、市立図書館まで。☎2412919

史跡津山城跡保存整備計画(第Ⅱ期)を策定

平成28年4月に、史跡津山城跡保存整備計画(第Ⅱ期)を策定しました。

津山城跡は、平成10年3月策定の『史跡津山城跡保存整備計画』に基づき、史跡指定地内の環境整備を実施してきました。



こぐち うらぐろがねもん がんぎ
虎口通路整備の一つ、裏鉄門下の雁木整備工事(平成26年度実施)

第Ⅰ期計画は平成10年度から29年度を計画期間としていましたが、第Ⅰ期の期間内で実施できなかった事業や、新たに修理する必要があるが生じた石垣などがあるため、これらについて改めて整理し、計画を見直すこととしました。第Ⅱ期計画

は、第Ⅰ期計画に引き続き、

- ① 虎口通路整備
- ② 石垣修理
- ③ 既存樹木の整備
- ④ 既設占有物の撤去
- ⑤ 建造物の復元(史料調査等)
- ⑥ 説明板・ガイダンス施設の整備
- ⑦ 指定範囲の拡大

を計画の柱とし、計画期間には津山市の第5次総合計画と合わせ、平成28年から平成37年の10か年とします。第Ⅱ期の初年度にあたる平成28年度は、二の丸東側石垣落石防止柵設置工事や、本丸七間廊下及び裏中門周辺の発掘調査等を実施する予定です。

第Ⅱ期計画に基づき、今後も、津山城跡の近世城郭としての魅力を最大限に活かすために、整備を進めていきます。

津山市子ども会連合会主催「つやま子ども野外塾」開講中

津山市子ども会連合会・市教委主催の、「つやま子ども野外塾」は、平成14年に「出雲街道アドベンチャー体験事業」として企画され、

今年15回目になります。

今年「生きる力を鍛えよう」自分の力と友情を育む」というテーマのもと、8月26日から28日まで新庄村と真庭市で行うサマーカーンブに向け、美作大学児童文化研究部の協力を得ながら、月1回野外活動の練習を行っています。



第1回 城西地区から鶴山公園を歩く

1回目の5月21日は城西地区と鶴山公園の約7キロを歩き、本源寺の森家のお墓を観光ガイドの方に案内していただくなど、城下町津山の歴史に触れました。

6月18日には、飯盒でご飯を炊いて牛丼を作りました。虫メガネやスチールウールなど子どもたちが持ち寄った物を用いて火種を作り、火の大切さや危険につ

いても学びました。

7月にはテントを張る練習をします。8月のキャンプでは、森林セラピー、魚のつかみ取り、キャンプファイヤーなど、野外ならではの活動を楽しめる計画を立てています。

郷土お宝紀行について



鶴崎神社(早島町)にて神社の由来を聞く様子

郷土お宝紀行は、平成19年に歴史の好きな人たちが声を掛け合って集まり、郷土の歴史を学ぶための講座として始まりました。

以来、9年に渡り中央公民館の主催講座として、年6回程度県内及び近県にある神

社、仏閣、名勝等の指定文化財や、地域の産業・伝承文化等の価値ある場所を尋ね、古代から近現代までの歴史を学習しています。郷土について深く学ぶことで、自分たちの住んでいる地域の大切さを再認識するための講座です。

発行 津山市教育委員会
(編集 学校教育部教育総務課)
〒708-8501
津山市山北520番地
TEL 0868-32-2112 (直通)
FAX 0868-32-2157
E-mail: kyouiku@city.tsuyama.okayama.jp

教育委員会関係課: 教育総務課 学校施設課 学校教育課
保健給食課 生涯学習課 図書館 文化課
津山市史編さん室 スポーツ課 こども課

